

令和2年9月～令和3年1月末日の間、人文学部・人文科学研究科学生の保護者の方を対象にアンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

集約したアンケート結果及び、自由記述にご記入いただいた内容について、本学部の対応並びに改善策を掲載しております。今回のアンケート結果から判明した諸課題は担当各所で共有し、本学部の教育の質の改善・向上に反映して参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

問1. お子様が在学する学年をお知らせください。

人文学部 ※令和3年1月時点の学生数

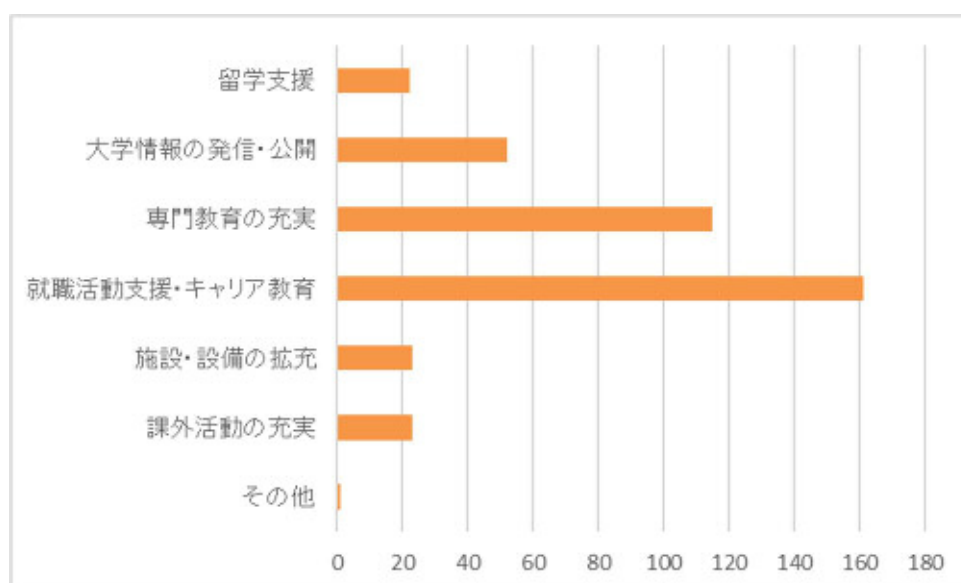
	1年生	2年生	3年生	4年生	計
学生数	192	211	205	222	830
回答数	56	46	36	37	175
回答率	29.1%	21.8%	17.5%	16.6%	21.0%

人文科学研究科

	1年生	2年生	計
学生数	5	4	9
回答数	2	0	2
回答率	40%	0%	22.2%

問2. 学部・研究科に対して、重点的に取組んでもらいたいことは何ですか。

(複数回答可)



(自由記述)

■授業・教育に関すること

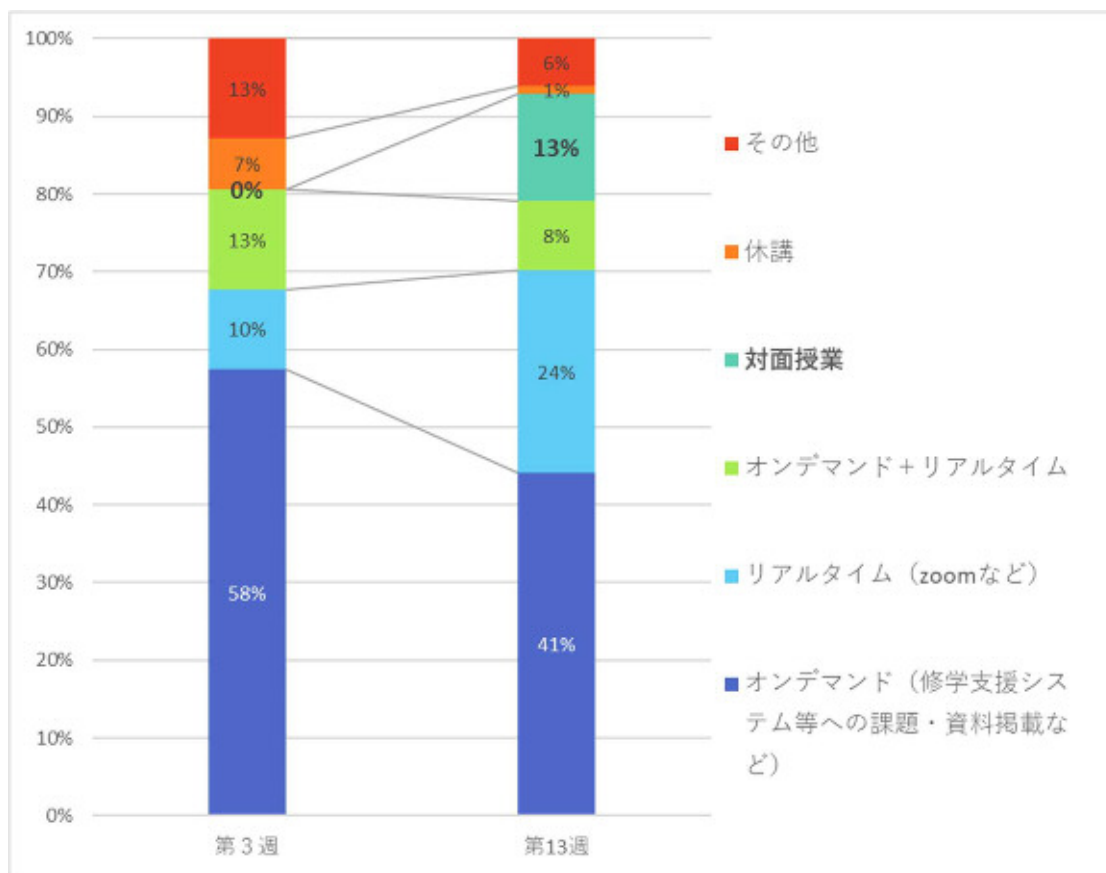
コロナ禍でのオンライン授業に関するご意見を多数いただきました。令和2年度前期は、4月に全面オンライン授業となりましたが、5月下旬からは段階的に対面授業を再開いたしました。主に1年生が受講する共通教育科目については、対面授業を増やして欲しいというご要望が多い一方で、感染拡大防止を第一に、オンライン授業を中心としてほしいというご意見もありました。

令和2年度前期の専門科目については、少人数の講義系科目や、3年生・4年生の演習系科目を中心に、第13週には、全体の13%が対面授業を再開しました。

また、オンライン授業の形式も、資料や課題を掲載するオンデマンド形式から、zoom等を用いたリアルタイム形式の授業が増加しました。

令和2年度後期授業は約80%の専門科目で対面授業を再開し、令和3年度前期授業は99%の専門科目が対面授業を実施しています。共通教育科目についても、1クラスを分割し、隔週での対面授業等、工夫して対面での授業を実施しています。

3、4年生の保護者の方からは、ゼミ単位での細やかな指導に対する高評価をいただきました。



表：令和2年度前期第3週（4/24～5/1）と第13週（7/9～7/15）の専門科目実施状況

■学生生活・学生支援に関すること

コロナ禍における学生のメンタル面について不安を感じる声と、サポートをお願いしたいというご意見が多くありました。

本学部では、学生の悩みや問題を早期に察知し、対応する体制を整備しています。半期毎に全学生の単位修得状況を確認し、成績不振者に対しては個別面談を行い、必要に応じて保護者への連絡を行っております。

特に、令和2年度は、慣れない新生活に加え、コロナ禍により多くの不安を抱えた1年生のケアを重点的に行いました。5月7日に、学生委員及び授業担当教員を含めた計14名の教員による「学生ケアチーム」を発足、12名の上級生を「新入生サポーター」として配置し、LINEのオープンチャットを利用したサポートを行いました。これにより、オンライン授業に伴う課題過多による、1年生の心身ともに消耗した状況を把握し、全学に対して問題提起及び早急な対応を呼びかけ、状況を改善することができました。

令和3年度は、1年生を対象に「なんでも相談会」を開催し、新入生サポーターが履修相談や学生生活の相談に応じました。2年生に対しては、前期から個別に仮指導教員を決定し、3年生からのコース配属に向けて、複数回の面談や説明会を実施します。学生の志望する研究内容と、専門分野とのマッチングを丁寧に行い、学生の学びの意欲を高めます。

3、4年生に対しては、指導教員及び副指導教員による細やかな指導を行います。高年次の保護者の方からは、ゼミの研究に熱心に取組んでいる、大学が増々楽しいようだ、引き続き個々の学生に目を配った教育をお願いしたい、等の評価をいただきました。

■就職支援に関すること

卒業生の就職先が知りたい、人文学は就職に直結しないので不安、コロナ禍による就職活動への懸念等のご意見をいただきました。

卒業生の就職先一覧については、今後は、就職率と併せて後援会役員会資料に掲載いたしますのでご参照ください。本学部は、就職支援部会を設置しており、全学の就職支援室と連携しながら支援をしています。キャリアカウンセラーによる個別カウンセリングや、キャリアプランを描くきっかけ作りのため、本学部卒業生による講演も行っております。また、令和2年度からは、人文学部に特化した、採用コンサルティング提供企業による就活講座を開催しています。

昨年度からオンラインによる採用活動が増えており、この傾向は今後も続くと思われる見られます。不安定な社会情勢を見極めながら準備を進めていくことが重要です。本学部では、令和2年度卒業生の就職率悪化は見受けられませんが、引き続き、必要な支援を行ってまいります。

なお、本学部長ブログ「学部長室の窓から」に、“人文学がいかに社会に役立つか”，いくつかの記事を掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

■留学支援に関すること

世界的な出入国制限により、海外との交流は回復の見込みが立っておりません。協定校との交換留学は、留学開始の約半年前から手続きが開始しますが、渡航の可否は、留学開始時の渡航先の感染症危険レベル（外務省）を基準に判断されます。そのため、準備を進めていたが渡航できないという状況が続いております。毎年本学部で実施していた、台湾への「海外調査研修」もやむを得ず休止をしています。大変残念ではありますが、このような状況であることをご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、令和3年度春季派遣留学は、一部の大学でオンライン留学を開始しています。

■大学情報の発信・公開に関すること

HP が分かりにくい、人文学部 HP の更新頻度が低い、大学 HP を定期的に見ているが様々な事柄が分かり嬉しい等のご意見をいただきました。

大学全体の HP は、令和3年度中に大幅な改訂が予定されております。本学部 HP も現在改訂作業を行っておりますので、今しばらくお待ちください。また、更新頻度や保護者の方へのコンテンツについては、本学部の広報作業部会を中心に、課題として検討して参ります。